

# 舌下免疫療法について

はたのクリニック



いろいろな病気の解説シリーズ  
2026年6月作成 第1版

# 舌下免疫療法について

1. アレルギー性鼻炎はどうしてなるの？
2. 治療はどうするの
3. 舌下免疫療法とはどういうものなの？
4. 副作用はどのようなものがあるの？
5. 服用時の注意点にはどのようなものがあるの？



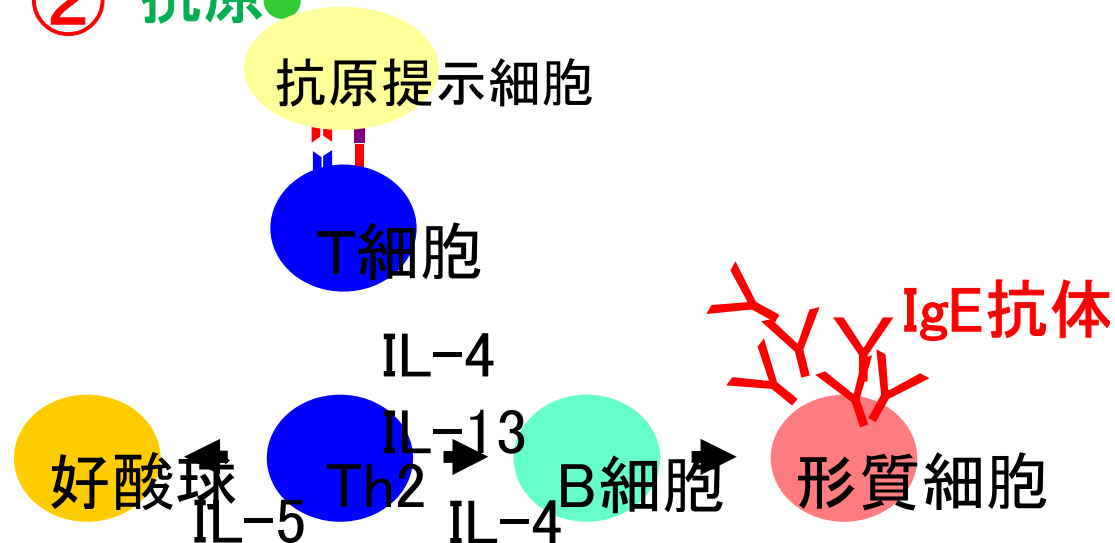
# 1.アレルギー性鼻炎はどうしてなるの？ ①

①



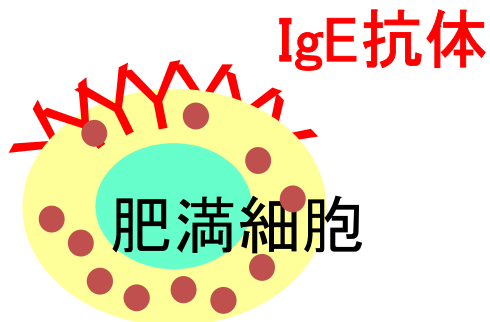
体内に抗原(花粉など)が入る  
(抗原侵入)

② 抗原●



抗原(緑●)の情報がリンパ球の中のT細胞に伝えられ、さらにその情報がB細胞に伝えられて、形質細胞からIgE抗体が産生されます(抗体産生)

③



花粉などの抗原に対抗する抗体(IgE抗体)が、ヒスタミンなどの化学伝達物質を蓄えた肥大細胞の表面に付着し、次に抗原物質が侵入してきた時に備えます(感作の状態)

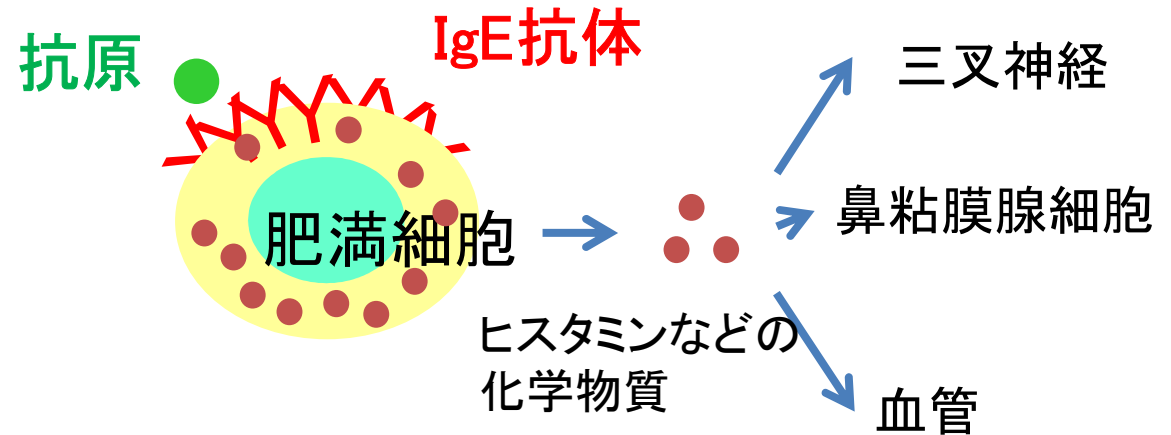
# 1.アレルギー性鼻炎はどうしてなるの？ ②

④



再び体内に抗原（花粉など）が入る

⑤



抗原（緑●）と、肥満細胞表面に準備されたIgE抗体が反応します（**抗原抗体反応**）

肥満細胞の中にあるヒスタミンなどの化学物質が放出され、これらの化学物質が

- ①三叉神経を刺激してくしゃみ発作
- ②鼻粘膜にある腺細胞を刺激して鼻汁の分泌
- ③血管に働いて浮腫（むくみ）

といった症状が引き起こされます（**即時相反応**）

即時相に続いて、好酸球などから放出される起炎性物質により炎症性粘膜腫脹がおり鼻閉をおこします（**遅発相反応**）

⑥



## 2. 治療はどのようにするの？

つらいスギ花粉症も春のスギ花粉が飛ぶ時期を過ぎると、症状は軽快します  
アレルギー反応は、アレルギーを起こす原因物質(ダニやスギ花粉などの抗原)と接触することで起こりますから、まずは原因物質を確認し、抗原と接しないようにすること、つまり基本は「抗原の除去・回避」がやはり重要です

### 1. 抗原の除去・回避

### 2. 薬物療法

抗ヒスタミン薬、ロイコトリエン拮抗薬、分子標的薬  
点鼻ステロイド薬、血管収縮薬 など

### 3. 手術療法

下甲介粘膜切除、後鼻神経切断術

### 4. アレルゲン免疫療法

皮下免疫療法、舌下免疫療法



### ③ 舌下免疫療法とはどういうものなの？

アレルギーの原因となるアレルゲン(ダニやスギ花粉など)を少量から繰り返し投与することで、体をアレルゲンに慣らし、アレルギー症状を症状を和らげる治療法です



長期継続(3-5年が推奨)することで、日常生活に与える影響を改善するような体質改善効果(長期寛解・治癒)も期待されます

アレルゲンの投与方法により、以下の二つがあります

①皮下に注射する方法 (SCIT: Subcutaneous immunotherapy)

②舌の下(舌下)投与方法 (SLIT: Sublingual immunotherapy)

舌下免疫療法では、現在はスギ花粉とダニ抗原が用いられています

アレルギーの原因物質を投与するため局所や全身にアレルギー反応がおこることがあります

異常が見られた場合は、医師にご相談ください

### ③ 舌下免疫療法とはどういうことを行うの？

#### 1.問診:

いつ、どういった症状があるのか

(春に、鼻水、鼻つまり、目のかゆみがある 等)

アレルギー性鼻炎の重症度やほかの治療法との比較などの説明

#### 2.アレルギー抗原検査:

ダニやスギ花粉が原因であることの確認、

血液検査で抗体測定を行うことが多い

#### 3. 内服開始:治療スケジュールと気を付けることの説明の上、開始

①少量から開始:スギ花粉が飛散していない時期に開始

薬を舌の下に1分間保持したのちに、飲み込む

服用後5分間は、うがいや飲食をしない

初回投与は医療機関で実際に服用(副作用の有無を確認)

②自宅での内服継続

:

③定期的に通院治療:



医療機関



自宅

## 4. 副作用にはどのようなものがあるの？

4. 副作用：服用後30分以内は注意  
治療開始時、増量時は注意



主な副作用：口の中の腫れ、かゆみ、のどの不快感など  
対応方法：治療開始1か月は抗ヒスタミン剤を併用  
口の中にしばらく保持したのちに吐き出しのまない  
慣れてきたら徐々に飲むようにする

### 重大な副作用(アナフィラキシー)

1. 循環器症状：頻脈、血圧低下(ふらつき、めまい)
2. 神経症状：意識の混濁
3. 呼吸器症状：声の嘎れ、胸の締め付け感、  
呼吸困難、  
異常な呼吸音(ゼーゼー、ひゅーひゅー)
4. 消化器症状：持続する胃痛、持続する嘔吐
5. 皮膚症状：蕁麻疹、掻痒感、全身の腫れ

対応方法：医師に相談

重篤な場合は救急病院受診



## 5. 服用時の注意点はどのようなものがあるの？

### 5. 注意点:

薬を舌の下におき、1分間保持したのちに、飲み込んでください

服用後5分間は、うがいや飲食をしないでください



服用前後2時間は、運動、飲酒、入用を避けてください



## 舌下免疫療開始前に確認していただきたい事項

### 治療に関して

- 長期間(3-5年が推奨)の治療を継続する
- 1か月に一回定期的に受診する
- 治療を終了、中断する場合には医師に相談する

### 服用に関して

- 服用手順(舌の下に1分間保持、服用後5分間はうがい、飲食を避けること)
- 最初の1週間、2週目以降の服用スケジュール、服用を誤った場合の対処法
- 服用前、および服用後2時間は激しい運動、アルコール摂取、入浴などをしない、服用後2時間以降にこれらを行う場合にもアナフィラキシーなどの副作用に注意
- 医師に相談する事項(体調が悪い、口の中に異常があるなど)
- 開封時の注意(乾いた指で取り出す)や取り扱いの注意(他の人に服用させない)

### 以下の副作用がおこる可能性がある

- 主な副作用;口の中のかゆみ、腫脹、不快感、喉の刺激感、かゆみ、耳のかゆみなど
- 重篤な副作用:ショック、アナフィラキシー
- 服用後少なくとも30分以内、服用開始初期は副作用の発現に特に注意する
- アナフィラキシーとその早期に見られる症状について
- 副作用(特にアナフィラキシーで早期に見られる症状)が現れた場合の対処法(医療機関を受診するなど)について

## 参考資料

1. 鼻アレルギー診療ガイドラインー通年性鼻炎と花粉症ー2020年版(改訂第9版)  
編集:日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会 鼻アレルギー診療ガイドライン  
作成委員会 制作:ライフサイエンス社 東京 2020.
2. 令和3年版 花粉症一口メモ  
編集・発行 東京都健康安全研究センター企画調整部 健康危機管理情報部  
登録番号(2)19  
印刷 有限会社雄久社
3. 東京都の花粉情報 東京とアレルギー情報navi. (tokyo.lg.jp)  
<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/allergy/pollen/index.html>
4. シダキュアによる治療を始める患者さんへ(インフォームドコンセント用)  
監修:日本医科大学大学院研究科 頭頸部・感覚器科学分野教授  
大久保公裕 鳥居薬品株式会社

## 1. 舌下免疫療法とは

スギ花粉が原因のくしゃみ、鼻水、鼻づまりなどの症状に対し、原因物質(アレルゲン)を少量ずつ体内に取り入れることで、体をアレルゲンに慣らし、アレルギー症状を根本から治すことを目指す治療法です

- ・**特徴:** 飲み薬(錠剤)を舌の下に置き、一定時間保持してから飲み込むという簡単な方法です
- ・**目的:** 症状の改善だけでなく、将来的に花粉症を完治、あるいは薬の量を大幅に減らすことが期待できます

## 2. 治療の方法

- ・**開始時期:** スギ花粉が飛散していない時期(6月~12月頃)から開始します。
- ・**服用:** 1日1回、少量の治療薬を舌の下に置き、1分間保持した後に飲み込みます  
その後5分間はうがいや飲食を控えてください。
- ・**通院:** 初回は医師の指導のもとで服用します。その後は定期的に受診し、体調や効果を確認します。

## 3. 副作用とその対処法

治療薬による過敏反応として、以下のような症状が出る場合があります  
多くは軽微ですが、注意が必要です

- ・**主な症状:** 口の中の腫れ、かゆみ、喉のイガイガ感、耳のかゆみ、腹痛など

## •対処法:

- 軽度であれば、様子を見ることもあります。
- 症状が気になる場合は、服用を一旦中断し、医師にご相談ください
- ※非常に稀ですが、アナフィラキシー(激しい腹痛、嘔吐、呼吸困難、蕁麻疹など)が起こる可能性があります。その際は直ちに医療機関を受診してください

## 4. 注意点

- 服用前後の注意:** 服用前後の2時間程度は、激しい運動、入浴、飲酒は避けてください (血行が良くなり副作用が強くなる可能性があるため)
- 体調不良時:** 風邪や喘息の発作がある時、口腔内に傷や炎症があるなど心配なときは医師にご相談ください
- 継続の重要性:** すぐに効果が出る治療ではありません。根気よく継続することが最も重要です

## 5. いつまで続けるのか?

- 期間:** 一般的に3年~5年程度の継続が推奨されています
- ゴール:** 長期的な効果を維持するためには、自己判断で途中でやめず、医師と相談しながら治療を進めましょう

医師より一言: 他の飲み薬による対症療法とは異なり、体質を変える治療です  
最初は不安かもしれませんが、根気強く続けましょう  
ご不明な点は、診察時にいつでもお尋ねください